

テーマ：瑞穂市から「世界一」へ

私が小学校1年生のとき、友達がダンスを習っていると聞き、自分もやってみたくて体験レッスンに行ったことがきっかけで、ダンスを始めました。もともと体を動かすことが好きだったこともあり、すぐにダンスに夢中になりました。

現在は、大学に通いながらダンスの練習をし、審査員として大会で審査したり、自ら大会に参加したりしています。また、毎週月曜日、自分がダンスを習ってきた「ダンススタジオ Beat-in」（瑞穂市別府）にて、レッスンの講師も務めています。

ダンサーとして活動するうえで特に大変なことは、大会へ向けての体調管理です。私は小学生のときに背骨を骨折する大けがをしたこともあり、特に体のケアを大切にしています。

今のやりがいは、ダンスを教えているときに、生徒が笑顔で踊っているところを見ることです。ダンスを通して人を元気にさせたり、いろいろな人と出会えたりすることにも喜びを感じます。

私の目標は、世界一になることです。今年フランスで開かれたストリート・ダンス・コンテスト「JUSTE DEBOUT」では、世界4位という結果でしたが、これからも世界一を目指して頑張っていきたいです。

また、今後は世の中にもっとダンスを広めることや、アーティストとしてメディアに関わるようなお仕事もしていきたいと思っています。

好きなことを続けていくうえで大切だと思うことは、やめずに続けること、やるからには上を目指すこと、妥協しないこと、自分のこだわりを持つこと、そして、例え叶いそうになくても、自分の夢を持ち続けることです。

私も今、夢に向かっていく途中ですが、馬鹿にされそうな夢でも、強く思い続けたり、人に言うことで必ず実現すると思っています。とにかく、絶対にあきらめないことです！夢の実現を目指すみなさん、私と一緒に頑張りましょう！



瑞穂市出身・在住ダンサー

KARIN (すぎやま かりん) さん

この記事についてのご意見・ご感想をお待ちしております。

総合政策課

TEL：058-327-4128 FAX：058-327-4103

E-mail: sougou@city.mizuho.lg.jp

